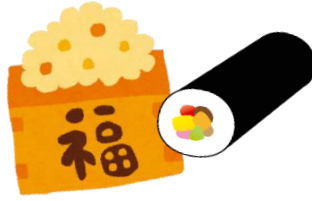


守谷ボランティア NEWS

2022年2月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
 〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
 守谷市市民交流プラザ2階
 電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
 Email：moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
 ホームページURL：https://moriya-cac.org/
 開館時間：午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
 休館日：月曜日、年末年始

守谷ひなまつり 10周年特別企画スタンプラリー開催

- ・スタンプ5つ以上で先着170人に景品
- ・スタンプ8つ以上でくじ引きで追加景品
- ・景品交換期間：2月18日(金)～3月3日(木)10:30～17:30
- ・景品交換場所：市民活動支援センター

※詳しくは、チラシまたはセンターHPをご覧ください。

●主催 守谷ひなまつり実行委員会 ●問合せ先 市民活動支援センター



もりもりクイズに参加してね!!



昨年の5月から「君だけのMORIYAをつくろう!」と題して、守谷にまつわるクイズを始めました。毎週楽しみに子どもたちが来館してクイズに答えてくれます。すでにレベルⅠのカードが完成し、レベルⅡに進んでいる子もいます。やり方は簡単!

カードは市民活動支援センター、キ・ターレ、ミ・ナーデに置いてあります。クイズの問題とやり方はHPにも掲載しています。自分のペースで進められるので、ぜひ参加してください。

- ①クイズの答えがわかったらスタンプを押しに来てください。
- ②スタンプを4つ集めてシールをGet!
- ③シールをカードに貼って自分だけの地図を完成させましょう。
- ④カードをクリアするごとに景品をプレゼント。



登録団体活動情報 2月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	間宮 45-3066
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第4(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター
守谷おりがみクラブ おりがみ教室	市民活動支援センター	第2(土) 13:30～15:30	川名 090-7242-4888

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

教育	～2/28 助成事業 公益財団法人ノエビアグリーン財団 https://www.noevirgreen.or.jp/
福祉	～2/28 一般助成 公益財団法人洲崎福祉財団 http://www.swf.or.jp/
福祉・まちづくり	～2/28 第11回杉浦地域医療振興助成 公益財団法人 杉浦記念財団 https://sugi-zaidan.jp/

編集後記

東洋医学では、病気にはなっていないけれども健康ではない状態を「未病」と言います。入院や通院はしていないけれど、どこか体調の優れないところを抱えている人が多くいると言われています。いつまでも健康的で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすことがこれからの課題。そのためには病気になってから病院に行くのではなく、「未病」を改善することで病気自体を防ぐことができます。その対策の一つとして「社会参加」があります。ボランティア活動、趣味、稽古ごとをしている人の方が、より自立度が高いというデータがあります。人との交流が健康的な暮らしをもたらすことを証明しています。何か始めたいと思ったら、是非センターにお越しください!





こんにちは！守谷のボランティアさん

「花と暮らす会」の活動に参加・取材に行ってきました！

2021年10月18日（月） 14:00~15:00 @ツクイ守谷

今回は「花と暮らす会」の、園芸療法のボランティア活動取材してきました。

はじめに、「花と暮らす会」の活動内容について紹介します。

主に高齢者、障がい者を対象に、寄せ植え、切り花のアレンジ、クラフトなど、一緒に楽しむ園芸療法を行っています。また、【花を取り入れたナチュラルライフ】をテーマに月に1回、市民活動支援センターにて講座も行っています。

■豆を使ったタオルハンガー作り



介護施設のツクイ守谷で「豆を使ったタオルハンガー作り」が行われました。8名の方が参加していました。

毎回楽しみにしている方もいるようで、皆さん笑顔で会話も弾んでいました。豆を挿んだり、細いチューブに入れていく作業は、

手の不自由な高齢者には困難だと思います。しかし、皆さん豆をひとつひとつ丁寧に落とすことなく上手に入れていました。

そして、何種類もある、色とりどりの豆を自分なりにデザインしながら作り上げていく姿に感心しました。



▲職員の方がラッピングしてくれました！

■こんな種類の豆を使いました



とら豆



パンダ豆



レンズ豆



鞍掛豆



紅絞り豆



白いんげん

■職員の方にお話を伺いました

いつも一番元気でおしゃべりが大好き、今回も「楽しいね!!」と言いながら、タオルハンガーを作っていたおばあちゃん。実は認知症を患っているそうです。

日常生活では忘れてしまう出来事も多い中、「花と暮らす会」で作る作品のことはよく覚えていて、「今日はこのお花を作って楽しかったよ!」と、嬉しそうにご家族の方にお話をされているそうです。「いつもなら思い出せないこともあるのに、作品を作ったことは覚えているのよね」と、ご家族の方も驚かされていたそうです。

普段、記憶や判断力に障害があり表情の乏しい高齢の方々も、植物に触れると昔の出来事が思い出され、回想療法にもなると言われていています。そんな「花と暮らす会」の活動は、疲れたからだや心を元気にするようサポートしてくれているのですね！



■2022年度 受講生募集

<講座日程> 毎月第3水曜日 13:30~

毎月、季節に合った作品を作ります。

4月20日	母の日アレンジ
5月18日	プリザーブドフラワー
6月15日	初夏の寄せ植え

※材料の入荷状況により、内容を変更する場合があります。ご了承ください。

●申込・問合せ先等、詳細につきましては、広報もりや2月10日号でご確認ください。

<取材：市民活動支援センター>